

(2) 受付意見の概要及び意見に対する考え方

該当分野	意見の概要	意見に対する考え方
<p>-7-(5)</p> <p>国内における毒ガス弾等対策</p>	<p>今後の対応方針が決定された事案（陸域 114、水域 29 事案）について、環境調査の実施数などを指標にできないか。</p>	<p>昭和 48 年「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査において、情報の確実性、地域の特定性に応じて、事案を A～D（A：4 事案、B：16 事案、C：21 事案、D：73 事案）に分類し、分類に応じて被害の未然防止のため、大気調査、地下水調査等の対応を行っていくこととしています。A 事案については、これまでにすでに各環境調査を実施しています。B/C 事案については、平成 16 年度に地下水調査等を実施し、その結果、平成 17 年度において、追加的に環境調査が必要とされた事案は 10 事案となっています。また、継続的に情報提供を受け付けることとされている D 事案については、情報収集の結果、新たに環境調査を必要とするような新規の情報はありませんでした。このようにそれぞれの事案について対応を進めてきたところで、各事案の具体的な環境調査の実施に当たっては、追加的な情報収集や関係自治体、土地所有者等との調整を経て実施数等を決定するため、あらかじめ環境調査の実施数などの指標を設定することは困難です。ご理解の程よろしく申し上げます。</p>
<p>-8-(6)</p> <p>自然とのふれあい推進</p>	<p>先日温泉に行ったところ、温泉法の施行規則が改正されたことで、温泉利用施設での掲示内容が変わり、分かりやすく、しかも信頼できる内容になったと感じた。国民のニーズに応えた迅速な対応だったと思う。</p> <p>下位目標 2 において、エコツーリズムの普及が掲げられているが、この分野については、我が国は非常に優良なコンテンツを抱えていると思うが、十分に普及が進んでいない現状がある。旅行代理店などとも協力して、より積極的に潜在的な需要を掘り起こす施策を展開すべきではないか。</p>	<p>この制度改正により、温泉利用施設における情報提供が充実し、温泉に対する信頼回復が図られるものと期待しています。</p> <p>エコツーリズムを実践するため、全国 13 地区でモデル事業を実施しており、モデル地区ごとに地域資源を掘り起こし、これを適正に保全・活用するために様々な取組を行っています。モデル地区の特性を踏まえて、旅行・観光業、地域づくりなどの専門機関の協力を得ながら事業を進めておりますのでご理解のほどよろしく申し上げます。</p>